2015年12月号「vol.66」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

知恵しぼる神奈川県内の自治体「ふるさと納税」での寄付金獲得

2017年4月からの消費税の10%への引き上げを前に「負担軽減措置をどうするか」の論議が活発になっていますが、一方で所得税や住民税の軽減措置を受けられる国の「ふるさと納税」制度への関心も高まっています。2008年からスタートした制度で、出身地などの都道府県や市区（東京の区のような特別区）町村に寄付をすると、自己負担分（2000円）を除いた金額が所得税や居住地の住民税から軽減されるというもので、その年の1～12月中に行われた寄付について翌年に納税する時に軽減される仕組みになっています。国によると2015年の4～9月の全国での寄付総額は約453億円で、前年同期の4倍に上っているといいます。神奈川県内の自治体（県と33市町村）では寄付金総額より、本来、得られる住民税が「ふるさと納税」による軽減措置で控除されてしまう総額の方が多い、という〝赤字状態〟が続いており、「なんとか寄付金が増えてくれれば」と対策に知恵をしぼっているようです。

神奈川県の「ふるさと納税」は「かながわキンタロウ寄附金」の愛称で実施されており、2014年度には8つの基金とその他に対し、個人から総額約5309万円の寄付がありました。このうち県内からが約4952万円と圧倒的に多く、県外からは約367万円でした。基金別のうち最も多かったのが「神奈川県まなび舎基金」で約4371万円。これは県立学校等の教育環境整備を計画的かつ円滑に推進するための取り組みに関係した基金です。このほか「奨学金基金」「南方諸地域戦没者追悼沖縄神奈川の塔整備基金」などへの寄付が多くなっています。県では「寄付は毎年5000万円程度寄せられているが、軽減措置による住民税の控除は毎年1億円以上とみられる。東日本大震災が発生した翌年の2012年には寄付が3000万円ほどに激減した」としています。県が試算したところでは県内の33市町村が2014年に受け取った寄付額は約6億円。これに対し住民税の軽減措置による控除は約11億円に上ると推計されています。

「ふるさと納税」はもともと都市部に偏る税収の是正や地域活性化を目的に設けられたもので、都市部の神奈川県での〝赤字現象〟は当然と思われますが、県では「魅力的な基金を設けて寄付を増やしてもらうなど、なんとか収支のバランスがとれるようになれば」としています。2015年7月から新たに「動物保護センター建設基金」を設けましたが、約607万円の寄付が集まっているということです。市町村の状況をみてみますと昨年度実績で寄付が最も多かったのは川崎市で約2億2727万円、次いで三浦市の約1億6131万円となっています。県内の自治体のうち、寄付のお礼に特産品・記念品などのプレゼントを贈っているところは18市町に上っていますが、三浦市では冷凍のマグロの刺身、野菜など、川崎市では岡本太郎美術館の招待券などを贈っており、人気があるようです。

コレが言いたい！

各自治体では地元の特産品をお礼に贈ることが過熱していますが、もともとの趣旨から外れ税金の取り合いになるのではないかと危惧しています。神奈川県のふるさと納税は、賛同した県の施策に対して寄付を行うものであり、施策に共感し寄附して頂いた方に対して施策の進捗状況を報告することも必要ではないかと考えます。

今月のひと言

12月20日（日）10時から21時まで、知事の執務室・旧貴賓室・旧議場・本庁舎歴史展示室・屋上の展望台など、県庁本庁舎を公開します。

磯子 あれ？これ？

氷取沢陣屋　（戦国～江戸末期）

氷取沢陣屋が何処にあったかは諸説ありますが、有力なのは氷取沢神社の先を右折して旧道を川沿いに200mほど進んだ右側の小高い平地ではないかと推察されます。その場所には氷取沢間宮家初代の綱信の隠居所があり、近くに長男重信の陣屋があったとされます。残念ながらその面影を残すものはありません。

房州里見軍が天文2（1532）年に氷取沢まで攻め入った際に、間宮家の菩提である宝勝寺の梵鐘が持ち去られ、20余年後に安房郡岩井村の正善寺で見かけられたとの話があります。宝勝寺には寛永21（1644）年に重信が父綱信の供養の為に新たに梵鐘を鋳造寄進したとの記録があります。

幕末になると外国船が江戸湾に来航するようになり、海岸防衛の為「諸国寺院の梵鐘を大砲・小銃に鋳換すべし」の書状が幕府から発布されますが、宝勝寺側は梵鐘が当寺を菩提とする間宮家より寄進されたものであることを理由に供出を断りました。しかしながら、先の大戦では断りきれずに供出し、その後行方不明となってしまいました。終戦後福島県会津若松市の寺より申し出があり、梵鐘は宝勝寺へ返されています。

氷取沢間宮家は、磯子間宮家三氏（杉田・中里・氷取沢）のうち唯一、明治まで続きました。

参考：磯子の史話・宝勝寺住職・地元古老からの聞き取り

活動報告

11月12日(水)から13日（金）まで行財政改革・地方分権特別委員会視察

国立研究開発法人情報通信研究機構（宮城県）

宮城県庁（宮城県）

タカラ印刷株式会社（福島県）

11月15日（日）から17日（火）まで自民党県議団視察

株式会社松井機業所（富山県）

三菱ふそうバス製造株式会社視察（富山県）

株式会社小松製作所（石川県）

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成27年4月 県議会議員2期目当選
- 県民企業常任委員会委員
- 行財政改革・地方分権特別委員会副委員長
- 自民党神奈川県議会議員団政務調査会副会長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい…… FAX 045-761-7451